

審判員、審判指導者 各位

【重要】[審判]FIFA フェアプレーワッペン[®]の審判服への表示取りやめについて

日本サッカー協会

平素より大変お世話になっております。日本サッカー協会です。
標題の件につきまして、お知らせがございました。

これまで本協会では、FIFA フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がけることの象徴として、FIFA フェアプレー旗の掲揚等を行ってまいりました。

しかしながら、この度、FIFA より“FIFA Fair Play”及び“My Game is Fair Play”の使用を取りやめる旨の通達がありました。

これを受けて本協会としては、競技会等での“FIFA Fair Play”の運用を取りやめることとし、審判員に関わることとしまして、FIFA フェアプレーワッペン[®]の運用を下記の通りとさせていただきます。

◆ FIFA フェアプレーワッペン[®]の審判服への表示について ◆

対象 : 2019年6月1日以降の競技会にて順次対応(2020年3月末日を目処とする)

運用 : FIFA フェアプレーワッペン[®]の表示取りやめ

ただし、表示取りやめの適切なタイミングは、各地域・都道府県サッカー協会および競技会等のご事情に合わせて、ご判断いただきます。

表示の判断に迷った場合は、担当する試合の運営主催者等へご確認をお願いします。

その他 : FIFA フェアプレーワッペン[®]に代わるワッペン[®]の制作予定はございません。

「リスペクトワッペン[®]」の運用変更はございません。引き続き表示をお願いします。

※本運用は、2019年5月31日に地域・都道府県サッカー協会・各種連盟等へ発信された文書より一部改訂しております。(改訂文書は2019年6月7日に再発信済み)
既に所属のサッカー協会や各種連盟から通知を受けている皆様は、上記内容に改訂されておりますのでご注意ください。

なお、JFA 主催競技会については、原則として取り外しをお願い申し上げます。

対象競技会：天皇杯 JFA 全日本選手権大会、明治安田生命 J1 リーグ・J2 リーグ・J3 リーグ、
YBC ルヴァンカップ、JFL、プレナスなでしこリーグ・チャレンジリーグ、
高円宮杯 JFAU-18 プレミアリーグ 等

また、本件はあくまでも FIFA フェアプレーワッペン[®]の運用についてのご案内であり、フットボールにおけるフェアプレーの精神を否定するものではありません。

<補足：本運用の判断に至った経緯>

従来より FIFA フェアプレーワッペン[®]について、JFA 審判委員会では審判服への表示を推奨していましたが、あくまでも任意のご判断としておりました。

この度、FIFA からの通達を受けまして、以下の経緯で関係者へ案内させていただくことといたしました。

1. 2018年度開催の FIFA 総会において、新しい FIFA 宣言として“Living Football”が発表された。
2. FIFA より 2019年4月25日発信にて、“Living Football”マークのフラッグを使用すること、及びこれまで使っていた旧 FIFA 宣言“For the Game, For the World”や“My Game is Fair Play”等を使用した印刷物・デジタル教材を使用しない旨通達された。
3. JFA 事務局から FIFA に FIFA フェアプレーワッペン[®]についての使用を確認したところ、上記印刷物・デジタル教材同様に使用しない旨の要請を受けた。
4. 上記を鑑み、日本国内において FIFA フェアプレーワッペン[®]の審判服への表示を取りやめることを、全国の審判関係者にお伝えすることとした。

以上、宜しくお願い申し上げます。